

## 日本歯科麻酔学会雑誌投稿規定 (第45巻1号より適用)

1. 本誌に発表する論文は、本会会員が著者で、他の雑誌に未発表のものに限る。
2. 本誌に発表する論文の内容は、歯科麻酔に直接的に関係のあるものか、または、歯科麻酔を包含しているものとする。
3. 倫理規定について
  - (i) ヒトを対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守し、倫理的に行われていること。
  - (ii) 被験者あるいは患者からインフォームド・コンセント(個人情報を印刷・公表することに関しての同意書)を得ていること。論文中に記載される施設名は、患者の特定など、個人情報保護上問題がある場合は明示を避ける。また、症例報告では原則として論文中に受診日は記載しない。
  - (iii) 所属施設の倫理委員会の承認を得ていること。会員の所属する施設に倫理審査委員会が設置されていない場合、本学会に研究の審査を依頼することも可能である。学会ホームページに「倫理審査に関する規則とその様式」を掲載しているので参照すること。また、申請に関連する各種様式は学会ホームページからダウンロードできる。
  - (iv) 動物を対象とする内容については、所属施設の動物実験委員会の承認を得ていること。または、「動物の保護及び管理に関する法律」「動物の愛護及び管理に関する法律」「動物の愛護及び管理に関する法律施行規則」「犬及びねこの飼養及び保管に関する基準」「展示動物等の飼養及び保管に関する基準」「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」「動物の処分方法に関する指針」などに則していること。
4. 利益相反の申告について
  - (i) 対象は本誌の全ての投稿論文とする。
  - (ii) 投稿論文にかかわる全ての著者は利益相反の有無を申告すること。
  - (iii) 筆頭著者は、全ての著者の利益相反を1枚の利益相反自己申告書(様式1)にまとめて記載して、投稿時に必ず添付すること。
  - (iv) 利益相反の有無を本文の最後に記載すること。
  - (v) 筆頭著者は共著者の申告について、責任を負うこと。
  - (vi) 利益相反自己申告書(様式1)は雑誌綴じ込みのものを使用するか、または学会ホームページよりダウンロードし、利益相反に関する詳細は「利益相反に関する規則」等を参照すること。
5. 本誌の欄を総説、意見、宿題報告、原著、臨床、レポート、機械・器具、技術・技法、講座、紹介、短報、学会講演抄録、雑報等とする。
  - (i) 「総説」は雑誌編集委員会の依頼によるもので、原則として8,000字、図表7個以内とし、掲載料は無料、別刷30部を贈呈する。
    - (ii) 「原著」は刷上り2頁(1頁2,350字)まで無料とし、超過頁、図表(写真を含む)、別刷は実費とする。
    - (iii) 「臨床」は刷上り1頁まで無料とし、超過頁、図表、別刷は実費とする。
    - (iv) 「レポート、機械・器具、技術・技法、講座、紹介」は刷上り5頁以内とし、依頼原稿以外は実費全額著者負担とする。
    - (v) 「短報」は刷上り3頁以内とし、実費全額著者負担とする。原稿の分量は本文から文献の最後までで4,200字以内に収めること。また、図表を用いる場合は雑誌掲載時の片段標準の大きさ(横8cm×縦5cm)1点につき本文400字程度を減じること。
6. 原稿の書き方
  - (i) 原稿は常用漢字を用い、口語体、横書き、新かなづかいで、用語に関するお知らせを参照のうえ、日本歯科麻酔学会ホームページより論文テンプレートをダウンロードして作成すること。
  - (ii) 原稿第1枚目(表紙)は論文種別、和文表題(および副題)、和文の所属機関名、著者名、表・図枚数、英文抄録語数、別刷希望部数、査読結果・校正等連絡先とする。第2枚目から要約、本文の順に書くこと。
  - (iii) 柱(ランニング・タイトル)として、40字以内の論文題名を入れるが、40字を超過する題名は短縮して表題とは別に記載すること。
  - (iv) 原著および臨床論文には必ず報知的な和文要約(400~600字)をつける。
  - (v) 論文には英文抄録(250語程度)ならびに英文のKey-words(5 words程度)をつける。たとえば、Key-words: BLOOD, ANEMIA, ANESTHETICS, RELAXANT, HALOTHANEのように書く。表や図は英文で作成するが、内容(アンケート等)によっては和文も可とする。英文抄録ページは、表題(および副題)、所属機関名、著者名、抄録文、Key-words、Address correspondence toの順序で書く。
  - (vi) 所属機関名は和文、英文ともに必ず公式の名称を用いる。
  - (vii) 別刷の希望部数は論文の表紙に明記すること。
  - (viii) 表、図はすべて1ページに1点ずつとする。本文中にはTable 1, Fig. 1などと朱書する。
  - (ix) メートル法、度量衡の単位は次の文字を用い文字の後に点などを付けない。  
m, cm, mm,  $\mu$ ,  $\text{cm}^2$ , ml, l, kg, g, mg
  - (x) 文献は引用順に番号をつけ(たとえば佐藤<sup>10</sup>のごとく)、本文末尾に引用番号順にならべる。
    - A) 雑誌の場合  
すべての著者名:表題、誌名、出版年(西暦)、巻(号)、引用した部分の始めのページ-終わりのページ。なお投

稿中の論文は和文の場合は、誌名の後に「掲載予定」、  
欧文の場合は、“to be published in”の後に誌名を書  
く。また引用部分のページは必ず通巻ページを書くこと。

- [例] 1) 川島正人, 鈴木長明, 真秀重成, 海野雅浩: 難治  
性口腔・顎・顔面痛の原因に対する患者の先入観  
について, 日歯麻誌, 2000, 28(2), 213-217.  
2) Irifune M, Sato T, Nishikawa T, Masuyama T,  
Nomoto M, Fukuda T, Kawahara M: Hyper-  
locomotion during recovery from isoflurane  
anesthesia is associated with increased  
dopamine turnover in the nucleus accumbens  
and striatum in mice, *Anesthesiology*, 1997,  
86(2), 464-475.

#### B) 単行本の場合

すべての著者名(編者名, 翻訳者名): 表題(書名, 巻  
数), 版表示, 出版社名, 出版地, 出版年(西暦), 引  
用した部分の始めのページ-終わりのページ。

- [例] 1) 杉岡伸悟, 上田 裕(古屋英毅, 松浦英夫, 雨宮義  
弘, 上田 裕, 金子 讓, 海野雅浩編): 全身麻酔 8  
気管内麻酔 3) 気管内挿管 (3) 気管切開(歯科麻  
酔学), 第5版, 医歯薬出版, 東京, 1997, 311-312.  
2) Stone DJ, Gal TJ (Miller RD ed): *Airway  
management (Anesthesia)*, 5th ed, Churchill  
Livingstone, Phila, 1999, 1414-1451.

#### C) 抄録集の場合

すべての著者名: 表題, 会議開催地, 会議主催機関名  
または会議名, 出版年, リポート番号またはリポート  
名, 引用した部分の始めのページ-終わりのページ。

- [例] 1) 佐藤暢一, 小沢治子, 野口純一: プロポフォル

を併用した麻酔後に2日におよぶ覚醒遅延を来し  
た1症例, 松山, 第18回日本臨床麻酔学会総会,  
1998, 抄録集, S317.

#### D) 研究報告の場合

すべての著者名: 報告書名, 発行所, 発行地, 発行年,  
引用した部分の始めのページ-終わりのページ。

- [例] 1) 河口 豊: 阪神・淡路大震災による病院被災に関  
する調査研究報告書(平成7年度健康政策調査研  
究事業), 国立医療・病院管理研究所, 東京, 1996,  
77-79.

#### E) URL の場合

著者名(または発行元): ウェブページの題名, ウェブ  
サイトの名称, 更新日付(不明の場合のみ省略可), 入  
手先 URL(参照日付)

- [例] 1) 日本歯科麻酔学会編集, 日本歯科医学会監修: 歯  
科診療における静脈内鎮静法ガイドライン, 日本  
歯科麻酔学会, 2011-02-23, <http://kokuhoken.net/jdsa/publication/guideline.html>(参照 2016-  
05-01)

なお, 雑誌略名を使用する場合は, 和文誌は原則として当  
該雑誌で規定されているもの, 英文誌は NLM スタイルに  
準拠した略名を使用すること。

7. 投稿論文は誓約書・利益相反自己申告書(様式1)・論文  
投稿チェックリストを添えて日本歯科麻酔学会ホームペ  
ージに設置してある雑誌投稿フォームから投稿すること。  
8. 投稿原稿は各号の締切り日必着とする。なお, 投稿後の  
著者都合による原稿差し替えは認めない。投稿原稿の採否  
は雑誌編集委員会で決定する。  
9. 本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。

## 原稿の作成および送付について

- 1) 原稿は日本歯科麻酔学会ホームページより Microsoft Office Word(以下 Word)形式の論文テンプレートをダウンロード  
して作成すること(日本歯科麻酔学会ホームページ→歯科医療関係者の皆様へ→出版物→「ご投稿をされる方に」を参照)。  
2) 論文テンプレートの表紙に必要事項を記入し, 次のページより, (原著・臨床のみ要約), 本文, 文献, 英文抄録等, (必要  
に応じて付表・付図)の順に1ページ40字×25行で記載する。  
3) Table および Fig. は英文抄録の次のページから1ページに1点ずつ挿入する。念のため表または画像の元データファイル  
(Excel, PowerPoint, JPG など)を論文テンプレートのファイルとは分けて添付すること(なお, JPG データを用いる際の  
画像解像度は, 写真は300 dpi 以上, 線画は1,200 dpi 以上とする)。  
4) 誓約書, 利益相反自己申告書(様式1)に必要事項を記載・捺印のうえ白黒スキャンし, 画像ファイルを添付する。なお,  
誓約書, 利益相反自己申告書(様式1)の原紙は著者校正返却時に必ず同封すること。  
5) 論文投稿チェックリストを確認のうえチェックを付して添付する。  
6) ファイル名は, 和文で「著者名」\_「論文; Table; Fig; その他」とする。  
例) 日麻太郎\_論文; 日麻太郎\_Table; 日麻太郎\_Fig; 日麻太郎\_誓約書; 日麻太郎\_利益相反自己申告書; 日麻太郎\_論文  
投稿チェックリスト  
7) ①論文テンプレート(Word), ②Table, ③Fig, ④誓約書(pdf), ⑤利益相反自己申告書(様式1, pdf), ⑥論文投稿チェッ  
クリスト(Word または pdf)を1つの圧縮ファイル(拡張子.zip)にし, 日本歯科麻酔学会ホームページに設置してある雑誌  
投稿フォームから投稿する。